

- マイナンバーカードは、2016年1月より、従来の住民基本台帳カードに替わって導入された。21年9月1日現在の交付率（人口に対する交付枚数の割合）は全国平均で37.6%である（図表1）。群馬県における交付率は31.5%で、全国44位となっている。政府はデジタル化を推進していく上で、マイナンバーカードの普及が欠かせないとして、9月に発足したデジタル庁を中心に、22年度末までに全国民への普及を目指している。群馬県でも、22年度末までにほとんどの住民が保有することを目標に、普及促進を図っている。
- マイナンバーカードは、①本人確認書類としての利用、②行政手続きがオンラインでできること、③コンビニで住民票などの公的な証明書を取得できること、④e-Taxと連携した確定申告ができること、⑤健康保険証としての利用などの機能に加え、将来的には運転免許証の機能なども搭載して利用することが考えられている。
- 一方、いまだに普及が大きく進まない理由として、①マイナンバーカード保有による便益が限定的であること、②保有しなくても大きな不便がないこと、③交付を受ける際には役所の窓口に出向くなどの手間がかかることなどが考えられる。
- 3月よりプレ運用が開始されたマイナンバーカードの健康保険証利用に参加している医療機関・薬局は、21年8月30日現在、全国で3279カ所、群馬県では35カ所となっている（図表2）。今後、マイナンバーカード普及のためには、マイナンバーカードとその他機能が一元化された一体型カードの利用を可能にするインフラの整備も求められている。

図表1 マイナンバーカード交付率

順位	都道府県名	人口	交付枚数	交付率
1	宮崎	1,087,372	530,315	48.8%
2	兵庫	5,523,627	2,343,660	42.4%
3	奈良	1,344,952	564,961	42.0%
4	滋賀	1,418,886	592,189	41.7%
5	東京	13,843,525	5,606,891	40.5%
(中 略)				
44	群馬	1,958,185	617,522	31.5%
(以下略)				
全国平均		126,654,244	47,612,171	37.6%

資料：総務省HPより当研究所が作成

人口は21年1月1日現在、交付枚数は同9月1日現在

図表2 参考：健康保険証利用への参加医療機関・薬局数（関東地方）

都道府県名	参加数
東京	324
神奈川	211
埼玉	125
千葉	107
栃木	102
茨城	46
群馬	35
全国	3279

資料：厚生労働省HPより当研究所が作成

参加数は21年8月30日現在

【一口メモ】

- ①住民基本台帳カードの交付率は、マイナンバーカードに切り替わる15年12月末現在で約5.6%であった（総務省）。
- ②マイナンバーカードの普及には、20年9月から実施したマイナポイントの付与や、同12月から21年3月にかけて郵送したスマートフォンから簡単に申請ができる「マイナンバーカード申請書（QRコード付き）」などが寄与したと考えられる。

(担当：半田浩己)